

市への要望として提出し、議会に回答を求めるもの

- 1 東条川の桜の木は、以前防虫予防をしたが、現在はコケが生えて弱ってきている。他市町からの見学者もあるので枝切など、本格的な対処をして欲しい。

【回答内容】

東条川の桜並木については、例年現地調査を実施し、毛虫の発生が多い箇所には薬剤散布を、通行に支障が出ている箇所は枝の剪定を行い、樹勢回復のための施肥も行っています。本年度につきましても、桜の状態により、コケの確認も含め、適時、作業を実施していきます。(担当部署：都市整備部土木課)

- 2 小中一貫校の開校後の登校は、スクールバスを利用しない児童は徒歩通学となる。新しい通学路となるので、交通安全対策、防犯対策（防犯カメラ設置）などしっかり行ってほしい。

【回答内容】

小中一貫校では従来の通学の形態が変わることから、小中学生の通学路は重要な案件としてとらえ、平成28年度から東条地域の皆様と協議を進めてきました。

スクールバスを運行する関係上、スクールバス発着拠点までの通学経路や直接学校まで徒歩登校となる通学経路について、地区別に学校やPTAの皆様へ、現時点において考えられる安全安心に通学できるルートはどこか提案していただいたところです。

今後は、そのルート案を基に、学校及びPTAの皆様と安全な通学について協議し、必要な箇所にはカーブミラー設置などの交通安全対策及び防犯カメラ設置などの防犯対策を行った上で、地区の見守り隊のご協力をいただきながら子どもたちの登下校の安全を確保していきます。(担当部署：こども未来部小中一貫教育推進室・総務財政部防災課)

- 3 加東消防署の救急搬送先で加東市民病院の受入れが低い状態が続いている。市民の税金が投入されている市民病院がこのような状態では、安全安心のまちづくりの観点からいかなものか。

多くの市民が必要としている病院であれば多額の赤字補てんも納得いく。民間企業なら、ユーザーの意識、意向を重要視するが行政はその気は全くない。

加東市民病院に市民への意識調査を実施するように申し入れ、仮に実施しないのであればその理由も含めて報告をいただきたい。

【回答内容】

加東市民病院だけで医療を完結させることは難しく、専門的医療を行う病院や高度な医療を提供する病院等との連携が必要になります。

北播磨圏域においては、現在、北播磨圏域地域医療構想調整会議において、北播磨圏域内の各病院と病床機能について機能分担の調整を行っているところで、今後、北播磨圏域内での加東市民病院としての役割が明確になっていきます。加東市民病院としては、その役割を担うとともに市民への医療サービスを提供していきます。

現在のところ意識調査やアンケート調査は予定しておりませんが、北播磨圏域地域医療構想調整会議の状況により、必要があれば検討したいと考えます。

また、当院はかかりつけ医からの緊急受入れ要請には必ず対応することとしており、加東消防署からの救急受入れ要請についてもできる限り対応している状況です。しかし、医師一人当たりの宿直（宿直の翌日も診察）は、回数の制限（1回/週）や医師の年齢、手術における安全確保のため前日の担当医の宿直は避けることなどを考慮すると、現在の常勤医師13名体制では夜間に病院にいる医師は1名となり、またその時の医師の専門領域により対応できる症状も限られており、加東消防署からの救急搬送割合が低下しているのが実情です。ご理解のほどよろしく願いいたします。

今後においては、さらに医師の確保に努めるなどし、できる限り救急搬送に対応していきたいと考えています。（担当部署：病院事業部経営企画課）

4 藤田方面から西脇方面へ向かう多くの車が、梶原（コンビニ前）の信号の渋滞を避けるため、喜田区画整理地内の道路（喜田区画1号線）を通り抜ける。来年は滝見橋の開通により、通行量も増すのではないかと危惧している。

児童、生徒、高校生の通学路の関係から、しっかりとした交通対策をお願いしたい。可能であれば通学時間帯は通行禁止のような措置と合わせ、梶原（コンビニ前）の信号の点灯のあり方も検証してほしい。

【回答内容】

市道喜田区画1号線については、昨年度に減速を促すための交通安全対策として1車線化を行い、白線の引き直しと交差点に十字マークを施工し、交通安全啓発看板の設置を行っています。信号や交通規制については、今後の交通状況を考慮の上、加東警察署と検証を行います。（担当部署：総務財政部防災課）